



EPA介護福祉士候補生と共に歩んで

社会福祉法人 泰仁会

特別養護老人ホーム やさと



# 施設概要

社会福祉法人 泰仁会

医療法人 江隆会

理事長 江畑 隆夫

〒315-0165 茨城県石岡市小倉442-1

TEL 0299-43-0811 FAX 0299-43-0812

URL <http://www.taijinkai.or.jp/>



このマークは、泰仁会が人の手に優しく  
包み込まれて若葉のように伸びる  
(末永く繁栄する)

そして、常にご利用者を暖かく包み込み、  
いつまでも安心できるサービスの提供を  
していくという意味が込められています。





# 法人の事業展開

|                                         |                                                                                                                          |
|-----------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成7年1月9日<br>平成7年10月1日                   | 法人認可<br>特別養護老人ホームやさと(定員50名)<br>ショートステイやさと(定員12名)<br>軽費老人ホームケアハウスやさと(定員15名)<br>デイサービスセンターやさと(定員30名)<br>石岡市委託在宅介護支援センターやさと |
| 平成12年 4月1日<br>平成14年10月20日<br>平成15年11月1日 | 居宅介護支援事業所ケアプランセンターやさと<br>グループホームさわらび(定員18名)<br>事業所内託児所こぎつねの郷(定員17名)                                                      |
| 平成16年11月1日                              | 特別養護老人ホーム桜の郷元気(定員70名)<br>ショートステイ桜の郷元気(定員10名)<br>デイサービス桜の郷元気(定員30名)<br>居宅介護支援事業所ケアプランセンター                                 |
| 平成19年5月1日                               | 小規模多機能型居宅介護事業所国府あおい<br>(定員25名)                                                                                           |



# 法人の理念

- 1、 泰仁会は福祉サービスを通して地域社会に貢献いたします。
- 2、 泰仁会は福祉サービスを通してご利用者のためご満足いくサービスの提供をいたします。
- 3、 泰仁会は地域の社会福祉向上のため永続発展いたします。
- 4、 泰仁会の職員はご利用者のニーズを大切にしご満足を得るために知識・技術・人間性を研鑽してゆきます。
- 5、 泰仁会は職員の生活を保障し健全な職場作りをします。



# はたらきやすい職場づくり

## ■ ワークライフバランスの取り組み

- ・託児所の設置
- ・子育て支援休暇
- ・特別有給休暇
- ・産前産後休暇
- ・育児休業(男性職員も含む)
- ・育児短時間勤務
- ・子の看護休暇
- ・介護休業
- ・介護休暇
- ・年次有給休暇取得促進

など



くるみんマークの取得



# なぜEPA候補生を受け入れたのか

- 日本人労働力が減少することによるマンパワー不足が懸念される。
- 将来を見通して外国人育成を行ない、今後活躍できる人財の育成と、そのノウハウを身につけるため。





# 特養やさとEPA候補者受入状況

|        | インドネシア                                           | フィリピン        |
|--------|--------------------------------------------------|--------------|
| 平成20年度 | 男性2名受入れ<br>1名帰国(平成23年度)<br><u>1名国家試験合格(24年度)</u> |              |
| }      |                                                  |              |
| 平成25年度 |                                                  | 男性1名、女性1名受入れ |
| 平成26年度 | 男性2名受入れ                                          | 男性1名、女性1名受入れ |
| 合計     | 男性3名                                             | 男子2名、女性2名    |





# 受け入れにあたっての準備

- ① 研修担当者・計画の決定
- ② インドネシアに関する勉強会の実施
- ③ 宗教・生活習慣への配慮



# 学習支援体制

## 日本語 学習

- ・ 施設長・相談員・研修責任者
- ・ 日本語ボランティア団体

## 試験対策 学習

- ・ 施設長・相談員・研修責任者
- ・ 外語学院(日本語学校)

## 介護技術

- ・ 介護主任、介護職員
- ・ 看護師



# 一年目の取り組み

## 日本語 学習

- ・ 事業計画・就業規則
- ・ 教材を使用した日本語の基礎学習
- ・ 日本語ボランティア団体への参加

## 試験対策 学習

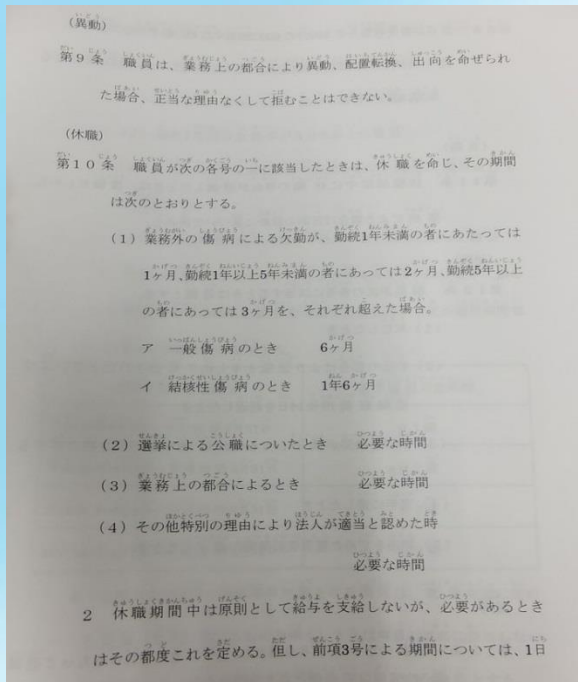
- ・ 基本的な介護用語

## 介護技術

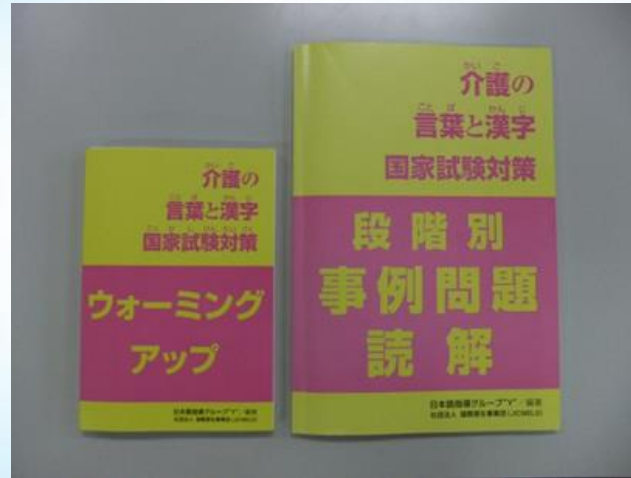
- ・ マンツーマンによる3大介護の指導
- ・ 日本の高齢者の特性



# 一年目の取り組み



(ルビを付けた就業規則)



主に使用した教材  
「みんなの日本語  
初級 I・II」



学習風景





# 二年目の取り組み

## 日本語 学習

- ・ 教材を使用した日本語の基礎学習
- ・ 国際厚生事業団から送られる添削問題の実施

## 試験対策 学習

- ・ 専門用語の習得
- ・ 外語学院の活用
- ・ 国際厚生事業団が開催する研修会への参加

## 介護技術

- ・ ご利用者個々に合わせた介護技術の習得
- ・ ご利用者との積極的なコミュニケーション



# 二年目の取り組み



きぼう国際外語学院での学習



# 三年目の取り組み

## 日本語 学習

- ・ 国際厚生事業団から送られてくる添削問題の実施
- ・ 日本語ボランティア団体への参加

## 試験対策 学習

- ・ 外語学院での試験対策指導
- ・ 模擬問題集
- ・ 国際厚生事業団からの模擬問題や集合研修への参加

## 介護技術

- ・ 介護技術講習参加による介護技術試験の免除



# 四年目の取り組み

## 日本語 学習

- ・ 日本語ボランティア団体への参加

## 試験対策 学習

- ・ 外語学院での模擬問題集の徹底指導
- ・ 宿題の提示
- ・ 国際厚生事業団からの模擬問題や集合研修への参加

## 介護技術

- ・ 介護現場での専門的な応用の指導





# 試験の結果

| 科目             | 23年度 | 24年度 | 科目          | 23年度 | 24年度 |
|----------------|------|------|-------------|------|------|
| 人間の尊厳と自立       | 2点   | 1点   | 発達と老化の理解    | 3点   | 5点   |
| 人間関係とコミュニケーション | 1点   | 1点   | 認知症の理解      | 3点   | 10点  |
| 社会の理解          | 8点   | 6点   | 障害の理解       | 6点   | 5点   |
| 介護の基本          | 9点   | 10点  | こころとからだのしくみ | 4点   | 7点   |
| コミュニケーション技術    | 6点   | 8点   | 総合問題        | 9点   | 6点   |
| 生活支援技術         | 14点  | 12点  |             |      |      |
| 介護の過程          | 6点   | 5点   | 合計          | 71点  | 76点  |

※解答速報を基にした採点結果



# 4年間を振り返って

- 基本的な日本語学習が不十分だった
- モチベーション維持への取り組みのあり方
- 体調の管理  
(日常生活の把握など)



# インドネシア人の特性

- 明るくて前向き、礼儀正しい
- 何ごととも一生懸命取り組む（仕事も勉強も）
- 自ら進んで行事に参加  
（施設の行事での舞踊の披露、のど自慢大会申し込み）



# 受け入れてよかったこと

①施設入居者へのよい刺激になった

→「外国人」ではなくひとりの「人」としての関係

②職員のモチベーション向上

→がんばっている姿に感銘と同時に発奮！

③施設内での研修体制の新しい可能性の発見

→二人の成長過程を振り返り、新たな気づきが…





# 受け入れてよかったこと

## ④国際色が豊かに

→伝統芸能や食事に触れる機会が増えた

## ⑤日本の良さの再認識

→日本の「ことば」と「文化」の美しさを共に感じ  
られた



ご清聴ありがとうございました

